



■南北 코리아 と日本のともだち展 大阪展

- 日程：3月8日（金）～10日（日）10時～17時（最終日10日は16時まで）
- 場所：大阪国際交流センター

2011年からはじまり8回目となりました。南北 코리아、中国、日本に住む子供たちが同じテーマで描いた絵画を通じて交流する企画。今年のテーマは「わたしのまち、あなたのまち」。ぜひ見に来てください。展示期間に以下のようなイベントもあります。

【1】 子どもワークショップ「わたしのまちにおいでよ」

3月9日（土）13:30-15:30 参加費：無料

【2】 ギャラリートーク 「ピョンヤンの大学生と語り合った私たち」

3月10日（日）13:30-15:30 参加費：無料

米朝や南北の首脳会談が開かれた2018年、朝鮮半島は平和へと大きな一歩を踏み出しました。そんななか、日本から朝鮮を訪問して同世代の若者に会った大学生たちがいます。彼らは何を話し合い、どんな約束をしたのか。帰国後も、学習会や大阪でのフィールドワークをおこない、在日コリアンたちとの交流もするなかで、どんなことを感じているのか。若い世代が思い描く東アジアの未来について、それぞれの考えをクロストークします。

■ブックカバーづくり&本おすすめ会

- 日程：2019年3月16日（土）14時から
- 場所：コリアンブックカフェ「책자리(ちえっちやり)」
- 参加費：¥500

いつか使おうと思って、結局家で眠っている紙袋、みなさんの家にもたくさんありませんか？そういった方にお薦めのイベントです。紙袋を作って、オリジナルのブックカバーを作ります！！その後、参加されるみなさんのおすすめ本を持ち寄ってビブリオバトルします。本のジャンルは問いません。（ただし、マンガはNG）一日、本を通じて交流しませんか？



<活動報告>

●第三回샴슴코리아文化サークル発表会(2/23)



今回はサークルメンバーによる創作マダン劇があり、工夫された脚本と皆それぞれの熱演に感動しました。昨今の日韓関係情勢のなかで生きづらさを抱える在日コリアン。韓国のことを「過去のことで、いつまでもしつこく、いじわるしてくる」と言った日本の男友達に対し、その場でぶっ飛ばし、謝らない。なぜ謝らないのかと問われると、彼の台詞をそっくりそのまま返す(3秒前でも「過去」)□笑いも交えたその場面は痛快で、見ている在日の人たち一人ひとりが普段抱えている、ニュースを見たり友達付き合いのなかでかんじるしんどさを吹き飛ばしてくれる、辛い心をふっと解き放たってくれる、そんな効果がありました。また、演じているサークルメンバーの力を入りようを見て、それぞれのエンパワーメントにもなったのかなと感じました。

ヘイトスピーチや歴史論争で疲れた心を元気にするには、学ぶことも大事ですが、こういう方法もあるんだな、表現したり、思いを共有する場をつくることは大事だなと思われました。サークルメンバー、本当におつかれさまでした□

●KNOWING2019 KEY 大阪来訪・交流会 (2/24)

2014年に始まった企画で、今回が7回目。これまで若者たちが日本や韓国の各所に訪れ、日本とコリアを取り巻くさまざまな問題について学び、議論をされています。7回目の今回は京都を拠点に2/22～2/25の3泊4日の日程で行事が行われました。その

中、2/24の夕方にKEY大阪(ちえっちやり)を訪ねてきてくれました。KEYから鶴橋駅周辺とコリアタウンの案内を行い、夜はちえっちやりで鍋を食べながら交流会を行いました。鶴橋周辺とコリアタウンの案内は、案内人私1人に対し、25名ほどの方が話を聞く形になり、内容が十分に伝わったか、少々不安ではありましたが、道中、ある一人の福岡出身の青年男性が民族教育について質問をしてくれました。というのも、彼自身日本人ですが、幼いころ民族教育の場を体験したことがあるとのこと。何がその人に響き、届くか分からないものです。

この後の交流会は、キムチチゲと寄せ鍋を囲みながらお互いの団体についての話や、自己紹介・生い立ちなどを話しながら楽しく過ごすことができました

若いメンバーの活発な姿や楽しさに触れ、キャンプしたいという気持ちになりました。

鶴橋コリアンタウン見学の全体的な感想

大阪のコリアンタウンといったら鶴橋という風に何度も耳にしたことがあったり、何度も来たことがあるがこのような昔からの歴史、そして近代日韓の歴史の地ということは知らなかった。

とても詳しくて分かりやすい説明を聞きながらその場に直接行って、見て感じることもできたのでとても有意義な時間だった。

今後、鶴橋に行くときは様々なことを思い出したりするだろうが、コリアンタウンへの見方もかなり変わってきそう。今は韓流ブームでこのように盛況な姿を見せているが、韓流ブームというのがなかった時代はどのような様子だったのかどのような暮らしをしてきたのかも気になる。

KEYの方とも交流できてとても濃い時間だった。

